

吉田（護）研究室（環境計画学）

教員名：吉田護

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

都市・地域で生活する中で、私たちは様々なリスクにさらされています。中でも、**自然環境に起因した災害**は、滅多に発生しませんが、発生した際には私たちに甚大な被害をもたらすリスクの一つです。こうしたリスクにいかに対処するか、本研究室では、**評価、マネジメント、ガバナンス**等の視点から本課題に取り組んでいます。

自然災害への対策・対応を考える上で、「**自助・共助・公助**」という枠組みが広く知られています。自助とは自分の命は自分で守ること、共助とは地域コミュニティや企業などで助け合うこと、公助とは行政による救助や支援のことを指します。

住民にどのように**災害への備え**や**避難行動**を促すか（自助）、どのように**自主防災組織**の活性化を促すか、どのように地域で**災害時要援護者**（高齢者など）の支援策を整えるか（共助）、堤防や砂防といった**社会基盤施設**の整備をどのようにすすめるか、**土地利用規制**の効果をどのように把握し、また実施するか（公助）など、各領域において実社会に則した多くの研究課題があります。また、災害対策・対応では、住民、自治体は勿論のこと、企業やNPO、教育機関、警察・消防、病院など**地域減災関係機関間の協働・連携**が求められています。この協働・連携をどのように促すかは大きな課題となっています。

こうしたテーマに対し、本研究室ではアンケート調査やワークショップ、統計分析、シミュレーション分析などを通じて取り組んでいます。



太田川（広島県）の水害

● 先輩はどんなところに就職しているの？

官公庁や地方公共団体などの公的機関、電力やガス、鉄道などのインフラ関連企業、会社や銀行や損害保険会社などの金融機関、建設コンサルタントなど幅広く就職しています。